

「多摩市子ども・子育て・若者プラン」についての委員質問一覧

(※該当箇所順)

No.	該当箇所	質問
<b>基本理念</b>		
1	P.39	基本理念にある「自分らしく」とは、小学生のことを考えれば「自分のよさを生かして」と読み替えてもよろしいのでしょうか。
2	P.39 下から12行目	「子どもの最善の利益」とは、何を意味しているのでしょうか。
3	P.39 下から11行目	「質の高い教育」とは、具体的にどのような教育を行うことなのでしょうか。
4	p.39・40 4-1 基本理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民の参画に子ども・若者の参画が含まれる、というご意見が会議でもありましたが、ここはあえて、取り出して、しっかり書く必要があるのではないかと思います。</li> <li>●母親の負担感が強いという指摘がありますが、その対策は「相談」の場の提供に重点があるようです。父親の育児が可能になる環境づくりや施策、両親による育児という考え方の浸透などのための事業展開が必要ではないでしょうか。</li> <li>●「多様な子育て・子育て支援」とありますが、子育て支援に偏っているように感じます。子育て支援の部分がもっとあった方が良いでしょう。その延長上ですが、不登校・引きこもり・ニートについて「社会にうまくできない」「自立できない」という個人の問題に帰しているに読み取れます。子育て環境を充実させる、子供が育ちにくい社会の課題を解決するための視点が必要です。</li> </ul>
5	p.40 上から3行目の段落 関係機関・民間団体等	地域及び社会全体で子育て支援に関わる必要性が述べられているが、関係機関・民間団体等との連携では、以前の計画から新たに連携先として対象とした機関や団体があるのかどうか。例えば高齢分野との連携はどのようであるか。(アンケートにはないが子育てと介護の両立での問題など)
<b>基本方針1 子どもの健やかな成長への支援</b>		
6	p.41 基本方針1	「子どもの健やかな成長」よく使われる言葉であるが、中身に書かれている、子どもの権利条約、児童福祉法の本質と現状の切実な問題と乖離がある。
7	p.41 基本方針1	子どもの健やかな成長に欠かせない、参画体験や意見を聞いてもらう・代弁してもらう機会に関する言及が必要ではないかと思いました。
8	P.41 基本方針1	【目指す姿】「その子らしく育つ」とは、どのような育ちを考えているのでしょうか。
9	p.41 基本方針1	目指す姿にある「その子らしく育つために」とありますが、どのような子どもを想定されているのでしょうか。後段の「基本施策としては～」を拝見すると「誰一人取り残さない」ようにも読み取れるのですが、例えば、登校拒否やひきこもりなど社会適応が難しい子どもたちはそれを個性ととらえて、その子どもたちの権利も尊重し、保証していくと理解してよろしいのでしょうか。あるいは、基本方針や目指す姿はあくまでもストライクゾーンを記載していて、そこからこぼれ落ちるゾーンは別途具体的な施策などに落とし込む際に拾っていくイメージででしょうか。
<b>基本方針2 子育て家庭への支援</b>		
10	P.41 基本方針2	【目指す姿】「子どもの最善の利益」とは、何を意味しているのでしょうか。
11	P.41 下から6行目	「家庭の教育力の向上」とは、どのような教育力を考えているのでしょうか。
12	p.41 基本方針2	子どもの家庭への経済的な視点以外の支援においては、剥奪された機会の充実のような観点での支援の内容が必要かと思えます。保護者の不安に対する対応だけではなく、遊び・学び・子どもらしい様々な活動や機会がないことによる子どもの漠然として不安や孤独感をなくす、という発想での支援環境整備をする必要があるのではないかと思いました。

No.	該当箇所	質問
<b>基本方針3 子育て・子育てを育む地域づくり</b>		
13	p.42 基本方針3	あらためて見ると 子育て・子育てを育む というのは、日本語的に違和感
14	p.42 基本方針3	基本方針2で書いたことをこちらの地域の役割として、考えていければいいと思いました。ここでも子育て支援の側面が強く、子育て支援の発想が少ないように思います。地域づくりに加わる子ども、対等に意見を述べ、市民として地域の将来の担い手となるという姿を想像できるような施策が必要かと思えます。
15	p.42 基本方針3	少子高齢化で基礎となる地域の在り方が理想と現実で乖離しているように感じています。多摩市も高齢化が進み、町内会等でも子どもがいない世帯が増え、子ども会がなくなった地域もあると聞いています。(実際、私の住む町内会も子ども会がありません)また、外国人労働者も増えて、言葉や習慣の違いから、良好な地域環境、安心・安全なまちそのものを作り運営していくことが課題となっていると感じています。さらに、高齢者が多い地域では「夏祭り」「運動会」などの行事も減っていて、地域活動そのものの維持すら難しい現実があるように感じています。そのような社会課題がある中、地域に対してどのような事を求めようとしているのでしょうか。あるいは、子どもたちが多い地域を中心に書かれているのでしょうか。
16	p.42 基本方針3	青少年問題協議会や地区委員会は、長年にわたり各地域の子どもの課題について取り組んできておられると思いますが、近年の活動状況はどのような様子でしょうか？関わっている皆さんは、どのような思い(価値観)でつながっておられるのでしょうか？通常の実践や話し合いの中から新たな取り組みが生まれたりするのでしょうか？
<b>基本方針4 子ども・若者に対する多角的な支援</b>		
17	p.42 基本方針4	多角的な支援だけではなく、重層的な支援が必要だと思います。ひきこもり支援に乗れない子どもは、ひきこもっている当事者の活動だったら参加でき、ピア・サポートにより回復の道筋が見える可能性もあります。 同じテーマでもいろいろなタイプの多層的な体制があると救われる人も多くなると思います。
18	p.42 基本方針4	「支援ネットワークづくりや子ども・若者を支援するしくみづくり」とあるが、75ページ以降の施策では個々の事業を包括するネットワークやしくみづくり自体を掲げている事業の記載はないように思われる。施策に落とし込まれている部分があるのかどうか。
19	p.42 基本方針4	「困難を抱えた際には様々な立場の人が連携しながら支え合い、「支援する側」、「支援される側」という一方的な関係によらずお互いに尊重し合える関係、相互協力・相互支援の関係を築き全体的な子ども・若者の未来がかがやくようなまちづくりを、子ども・若者ととともに進める」 支援する側は行政ではなく、市民に委ねるのだろうか？なぜか 今の政府のいう自助に似た響きを感じる。 会議で私が提案した 子ども・若者の力を信じ、「補完性の原理」で必要な支援を求め、差し出す、相互の関係づくりをうたった方がいいような気がします。
20	p.42 基本方針4	LGBTQの子どもたちや若者について、家族、地域、職場などで正しい理解がすすみ、差別されず、自分らしく生き、働くことを応援する仕組みはあるのでしょうか？ LGBTが向き合う問題の多くは本人が悪いのではなく、環境の問題ですので、環境に働きかける仕組みが必要だと思います。そのような取り組みはあるのでしょうか？
21	p.42 基本方針4	ひきこもりの子ども・若者・大人支援のプロセスでは、家から一歩出るチャレンジを応援する様々な場が必要だと思いますが、どのような場がありますか？十分なバリエーションがありますか？どのような場づくりが望まれていますか？ 不登校の子どもへの教育保障のしくみはありますか？
22	p.42 基本方針4	中学生以上の若者が学校以外の場で自由につまり、活動ができるユースセンターのような場所はありますか？そういった場所で、若者たちがコミュニティを形成する支援はなされていますか？

No.	該当箇所	質問
<b>施策体系</b>		
23	p.43	SDGs(主なもの)の画像が鮮明でないため、何と書いてあるのか分かりづらいです。
24	p.43	具体的に、この相談に対してはこの場所で、こういう人が対応する、という事が記されたところがあるのでしょうか？
<b>全体・その他</b>		
25	—	<p>全体に子育て支援の色彩が強く、それはそれで必要なことですが、子ども・若者が主役となって未来を築いていく、そのための環境づくり(制度も含めて)が弱いような。</p> <p>子どもが子どもに関わる施策に対して、知る権利を認め(わかりやすく情報を開示すること)、子どもが意見を述べたり、問題解決を考え、提案する権利を認めるような、また子どもの貧困、虐待、引きこもり、障害などを、当事者でない子どもも無関心で終わることなく、同じ仲間として子ども自身がそういう困難を抱える子どもたちに目を向けて、ともに考えて政策を変えていくような、子ども・若者の力が発揮できるような関わりを促進するような展開が求められるかと。</p> <p>子ども未来会議を子ども参画のまちづくりの機会としてESDからSDGsへ向けた子どもたちのまちづくりとして展開するのを後押しするようなことができないでしょうか。</p>
26	—	子ども、若者の成長、活躍を支える人たち(福祉職等)に対する目配せ(課題把握や連携・支援、連携協力等)に関する施策は、行なっていますか。
27	—	子ども、若者が、地域や社会で活躍する(それを後押しする)施策は、どの様になっていますか。また議会・議員の関心はどうですか(質問等がありましたか)
28	—	役所の委員会、審議会等への若者参画のルールはありますか(女性参画比率のような)。
29	—	関係者間の連携の仕組み、連携強化のために行っている活動、抱えている課題について、教えて下さい。
30	—	頑張った子どもや若者、それを支える人や団体等を顕彰する制度には、どのようなものがありますか。その運用実態は。
31	—	コロナ禍で、子ども、若者の相談は、影響を受けましたか、withコロナの時代にふさわしい方法等を考えていますか。